

# 新潟市若者支援センター オール

## 若者支援の概要と現状

新潟市若者支援センター



**2022.9.28**  
新潟市若者支援事業  
運営協議会

### [1] オール設置の経緯

◆新潟市の取組みと方向

### [2] 内閣府の設置・運営方針と新潟市の運用

◆オール・新潟市若者支援協議会の概要

### [3] 新潟市若者支援センター「オール」について

(1) 役割と支援内容

(2) 支援の流れ(相談窓口へ)

◆若者支援センター(オール)の事業

若者支援の3本柱

①相談 ②居場所 ③事業

[4] にいがた若者自立応援ネット

[5] 新潟市ユースアドバイザーの役割

○組織の縦割りを超えた支援のネットワークづくり（教育、福祉、雇用等における）

→ 51機関・団体による「新潟市若者支援協議会」設置。

○義務教育後の支援（義務教育までは支援が厚い。）

→ 支援が薄くなる概ね15歳から39歳まで。

○最適な相談機関への丁寧なつなぎ（若者の一人ひとりの悩みに応じた）

→ リファラー機能をもった相談窓口を設置。

○若者同士が相互に関わり合いながら自立し、社会参加・社会参画を果たす

仕組みづくり（これまでの青年の家の機能を生かしながら、あらゆる若者の様々な課題を解決する）

→ 基盤となる「自信を育て目標をもたせる」ことを目指す。

○居場所の設置（若者みんなが安心して過ごせる居場所）

→ 見守る人を配置。目的に合うスペースを設置。

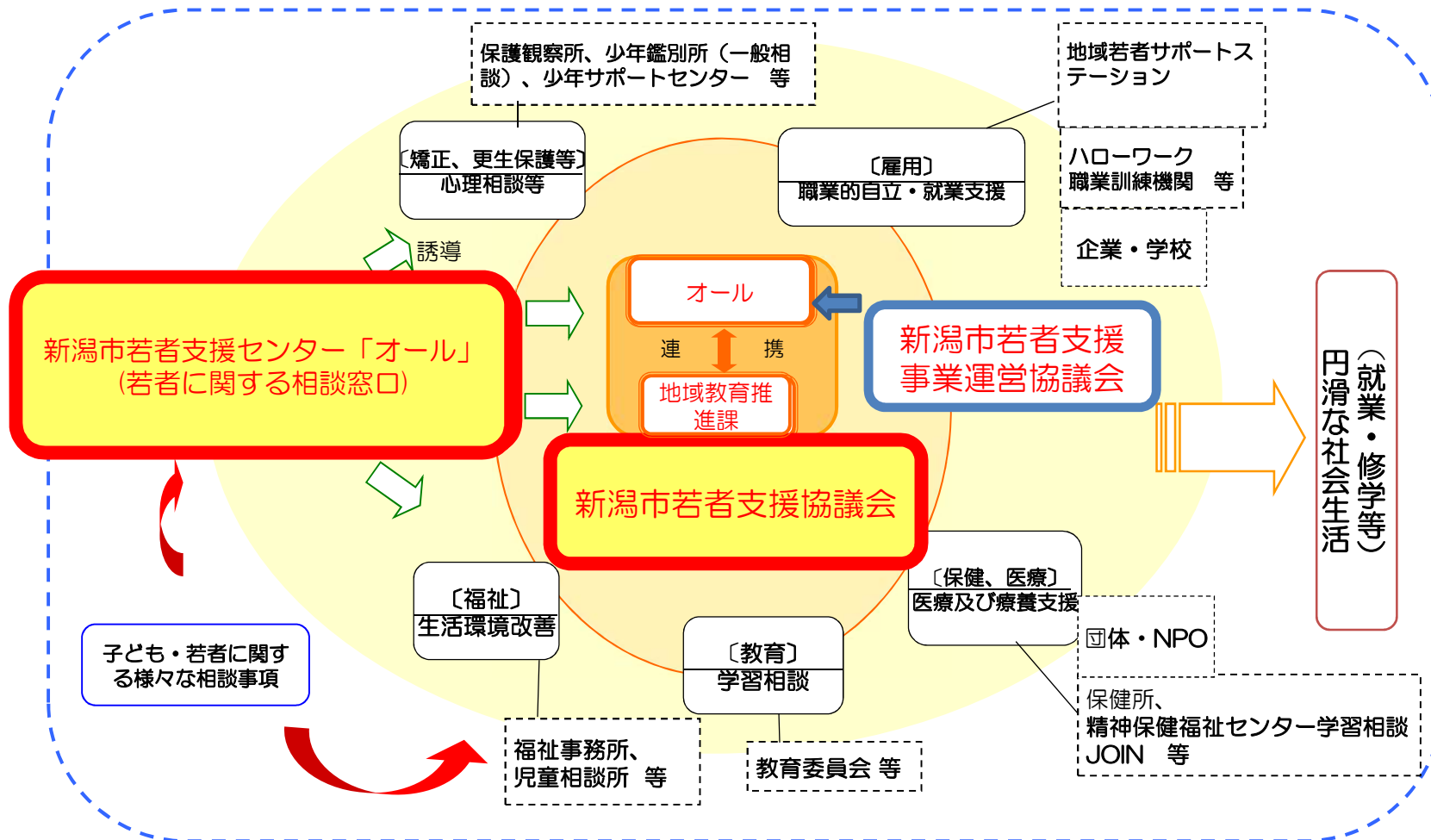
○人材の育成（若者支援に取り組む地域の人材育成）

→ ユースアドバイザーを育成。

## 〔2〕 内閣府の設置・運営方針と新潟市の運用

### (1) 新潟市若者支援の構想

#### 新潟市若者支援協議会



#### (役割)

- 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対し、地域の関係機関が連携して支援するためのネットワーク。
- 個別分野の施策や知見を結集して、困難を有する若者を総合的に支援するもの。

## 〔2〕内閣府の設置・運営指針と新潟市の運用

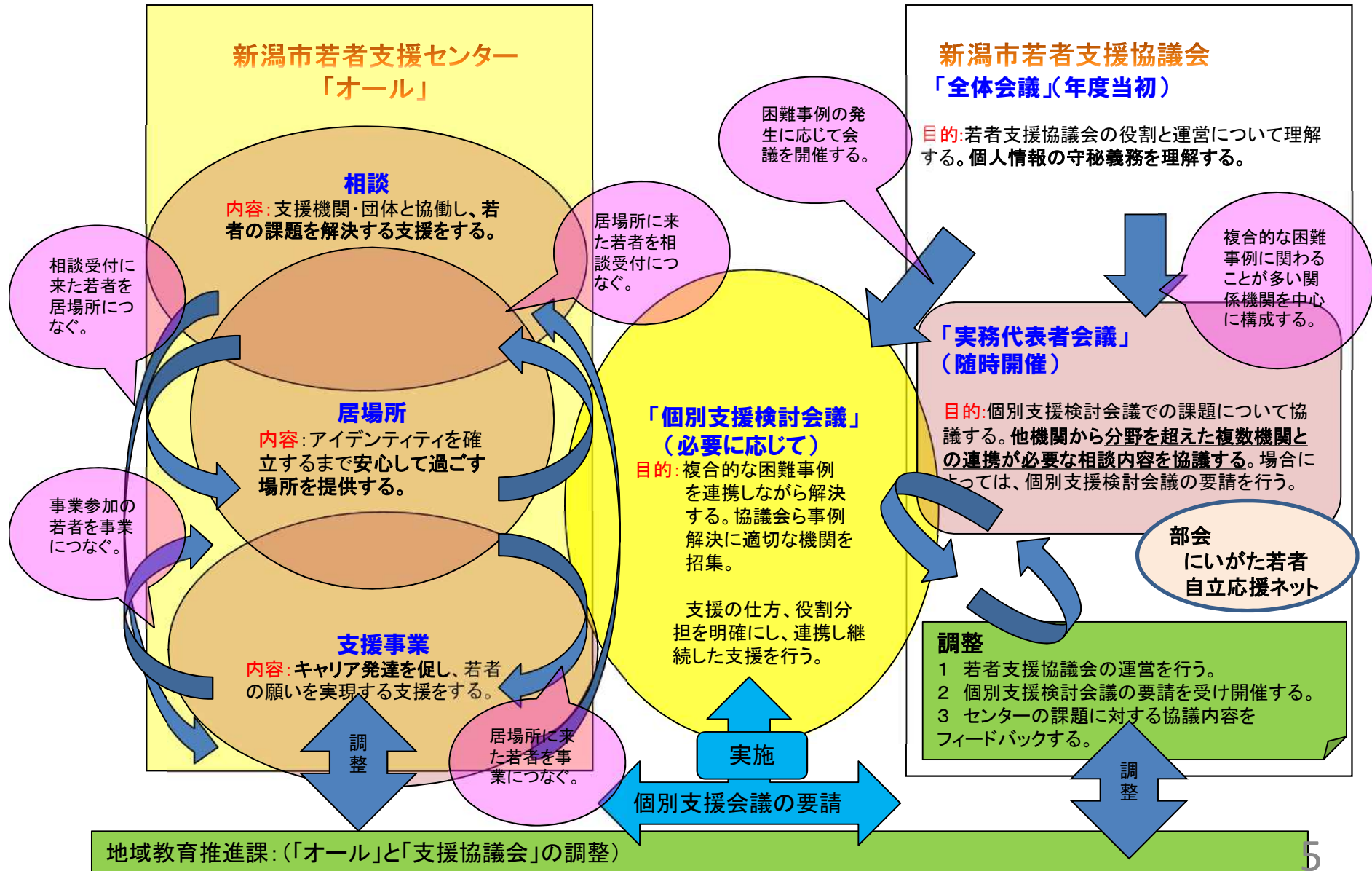
参考：新潟市若者支援協議会構成機関・団体（機関・団体）

別表第1（第3条、第7条及び第8条関係）（順不同）

| 分野       | 国                  | 県                        | 市  | 民間  | NPO等  |
|----------|--------------------|--------------------------|--|---|---|
| 雇用       | 新潟公共職業安定所          |                          | 新潟市雇用政策課   | 新潟地域若者サポートステーション<br>新潟商工会議所<br>新潟障害者職業センター<br>新潟市障がい者就業支援センターこあサポート<br>ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟<br>障害者就業・生活支援センター らいふあっぷ | うちのスペース・にいがた  |
| 福祉       |                    | 新潟県児童家庭課                 | 新潟市福祉総務課<br>新潟市障がい福祉課<br>新潟市児童相談所<br>新潟市北区健康福祉課<br>新潟市東区健康福祉課<br>新潟市中央区健康福祉課<br>新潟市江南区健康福祉課<br>新潟市秋葉区健康福祉課<br>新潟市南区健康福祉課<br>新潟市西区健康福祉課<br>新潟市西蒲区健康福祉課<br>新潟市東区保護課<br>新潟市中央区保護課<br>新潟市西区保護課 | 新潟市社会福祉協議会<br>新潟県臨床心理士会<br>新潟市民生委員児童委員協議会連合会<br>新潟市発達障がい支援センター<br>地域生活支援センターふらっと<br>ドリームカレッジ<br>新潟市パーソナル・サポート・センター  | NPO法人にいがた・オーティズム<br>NPO法人にいがた若者・自立支援ネットワーク・伴走舎<br>NPO法人新潟ねっと イツモノトコ |
| 教育       |                    | 新潟県高等学校教育課<br>新潟県立教育センター | 新潟市学校支援課<br>新潟市教育相談センター<br>新潟市地域教育推進課<br>新潟市中学校長会  | 新潟県高等学校長協会（公立）  |   |
| 市民生活     |                    |                          | 新潟市男女共同参画課   |   | NPO法人女のスペース・にいがた  |
| 保健・医療    |                    |                          | 新潟市こころの健康センター  | 新潟市ひきこもり相談支援センター  |   |
| 司法・更生・警察 | 新潟保護観察所<br>新潟少年鑑別所 | 新潟県警察本部少年課               |  |   |   |
| その他      |                    |                          |  | (有)ナマラエンターテイメント   | ひきこもり・サポートネットにいがた<br>NPO法人福井旧庄屋佐藤家保存会                               |

## 〔2〕 内閣府の設置・運営方針と新潟市の運用

### ◆オール・新潟市若者支援協議会の概要



# 若者支援センター組織図

地域教育推進課

課長

万代市民会館長(兼センター長)

万代市民会館  
係長(施設管理担当)

管理スタッフ(2人)  
施設管理

若者支援センター  
係長(オール担当)

相談スタッフ(5人)  
面談・支援  
事業スタッフ(2人)  
事業企画・実施

## 〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について

### (1) 役割と支援内容

1. 新潟市若者支援センター「オール」は、**社会的・職業的自立を支援する施設**です。
2. **社会的自立とは、自分に自信を持ち、社会性を身に付けること。**
  - (1) 自信を持つ ……育てる力: 自己理解・自己管理能力(みつめる力)
  - (2) 社会性を身に付ける ……育てる力: 人間関係形成・社会形成能力(かかわる力)
3. **職業的自立とは、夢や目標に向かって動き出すこと。**
  - (1) 夢や目標に向かって動き出す
    - ……育てる力: 課題対応能力(やりぬく力)
    - ……育てる力: キャリアプランニング能力(夢をおこす力)
4. **3本柱で支援**
  - (1) 相 談 ……面接を通して、若者の課題を明確にし、支援の方針を立てる。
  - (2) 居場所 ……アイデンティティを確立するまで、安心して過ごすことができる場所を設置。
  - (3) 事 業 ……社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。

支援で大事なのは、

人、スタッフ以外に **新潟市ユースアドバイザー**が活躍している。



### 〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について

※ どのような支援をする場所か

夢や目標なんかない  
自分に自信がない



仲間と活動したい  
こんなことを  
やってみたい



目標

新潟市若者支援センターは、若者の社会的・職業的自立に向け、課題を解決し、願いを実現するために、

手段

を

行政・地域・市民と協働支援をしたり、若者同士が支え合う関係を築いたりすることを通して、

姿

全ての若者が自分に自信をもち、社会性を身につけ、夢や目標に向かって動き出すことを支援する。

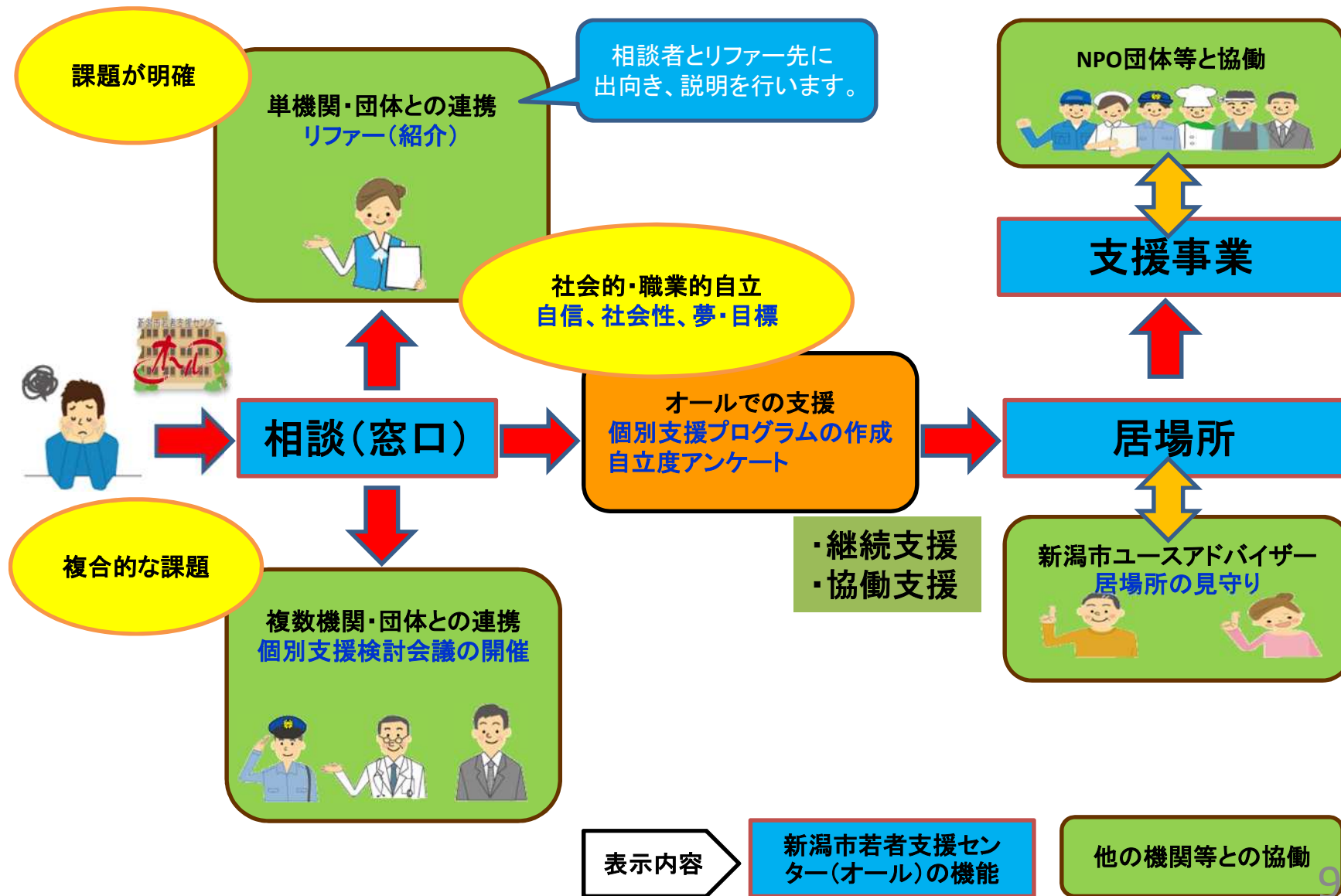
集団をつかって生活しようとする人間の根本的性質、他人との関係など、社会生活を重視する性格。

キャリア教育の  
キーワード

**若者の社会的・職業的自立を支援する施設**



〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について  
 (2) 支援の流れ (相談窓口へ)



### 〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について

#### （3）オールの支援内容

#### ◆相談…若者の課題を明確にし、支援方針を立て解決する。

 ○ 面談（課題・見立て）



○ 適切な支援機関・団体にリファー  
〈ひきセン・サポステ・発達障がい支援センター-(JOIN)〉

○ センター継続支援者への個別支援プログラムによる支援

○ 案件の課題が複数で複雑な場合は、複数機関・団体による  
協働支援

〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について  
(3) オールの支援内容

◆居場所…アイデンティティ(自分を知る)を確立する  
まで、安心して過ごす場所を提供する。

いろいろな体験を通して、自分は価値のある人間だという自尊感情を持つこと。



- 見守り活動  
(受付・話し相手・ミニ講座開催・自主企画支援・環境整理)
- 相談や支援事業につなぐ
- 個別支援プログラムに基づく支援

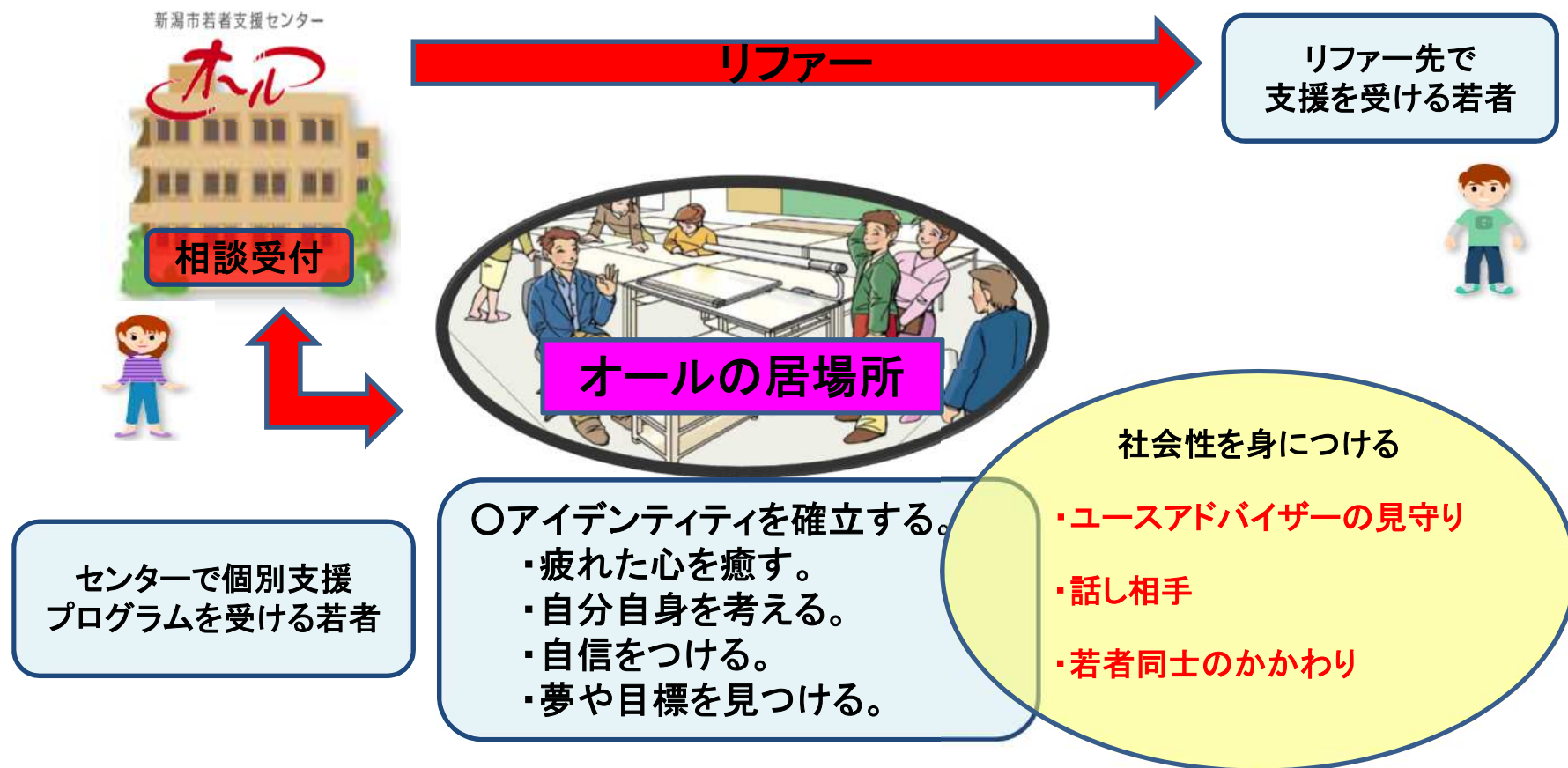
◆支援で大事なものは人。

スタッフ以外に「新潟市ユースアドバイザー(22人)」が支援しています。  
アドバイザーは養成講座を受講し、新潟市教育委員会から委嘱された方です。

### 〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について

#### (3) オールの支援内容

※居場所・・・居場所の役目



#### モラトリアムな(社会的責任を猶予される)時間を過ごす大切さ

困難を有する若者にとって、モラトリアムな時間が大切です。その時間の中で、疲れた心を癒し、自分自身を振り返る(アイデンティティの確立)ことができます。そして、支援講座や若者同士の支え合う力によって、自信(自尊感情)を育て、社会性を身につけ、将来の夢や目標を見つけていきます。

### 〔3〕新潟市若者支援センター「オール」について

#### （3）オールの支援内容

◆ **支援事業**…若者の社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。

👉 ○ 若者に応じた支援体制

- ・自立支援（個の学び）
- ・交流支援（個と個）
- ・活動支援（団体）



○ 育てる力

- ・自己理解・自己管理能力、課題対応能力
- ・人間関係形成・社会形成能力、
- ・キャリアプランニング能力

## 《令和3年度 相談・居場所支援の経過》

### ◆面談結果の内訳

|       |     |
|-------|-----|
| リファー  | 10件 |
| 終結    | 35件 |
| 中断    | 0件  |
| 継続支援者 | 18件 |
| 協働支援者 | 9件  |



|               |     |                 |
|---------------|-----|-----------------|
| リファー先         | 10件 |                 |
| ジョイン          | 1件  | ささえ愛よろずクリニック 1件 |
| 児童相談所         | 1件  | 若者サポートステーション 2件 |
| ひきこもり相談支援センター | 2件  | ソーシャルサポート 1件    |
| まことクリニック      | 1件  | こあサポート 1件       |

### ○居場所支援の内訳

|         |     |
|---------|-----|
| 継続支援者   | 18人 |
| 前年度から継続 | 29人 |



|      |     |
|------|-----|
| 支援終了 | 23人 |
| 支援中  | 24人 |

### ○他機関と連携支援

|         |     |
|---------|-----|
| 協働支援者   | 9人  |
| 前年度から継続 | 10人 |



|      |     |
|------|-----|
| 支援終了 | 9人  |
| 支援中  | 10人 |

# 【オールの特徴について】

☆オールの支援者の中には、

- 『発達障がい等で人とのコミュニケーションがとりにくい若者や不登校からひきこもりになり、家族との狭い人間関係で、日常体験・社会体験・成功体験が少なく、自分に自信がなく、社会性に乏しい』、
- 『学校とか家庭・職場とか狭い世界しか知らなかった。』という若者がいます。

☆オープンスペース・居場所の設置

- オープンスペースでは、食事やおやつが食べられたりする「オールカフェ」を設置。居場所では、おしゃべりやゲームで楽しんだり、自立支援事業では、各種講座やイベントなど行われています。
- ・オールは、狭い場所から広い社会へ繋がる居場所として機能しています。

※「相談事業」とキャリア発達を促す教育などの「支援事業」に加えて、

特にアイデンティティ(自分を知る)を確立するまで、安心して過ごす場所として、「居場所事業」も重視している点が特徴です。

## 〔4〕にいがた若者自立応援ネットについて 設立の経緯

- 高校中退もしくは卒業後は、支援機関につながりにくいことがわかりました。
- 在学中から支援機関とつながり、学校を離れた後も切れ目のない支援を継続するために、モデル的に新潟市立高校で「フリー相談事業」を実施しました。

### システムのよりよい運用のために…

- ・新潟市立高校の教職員との意見交換会  
(平成23年3月)
- ⇒ 進路未定で卒業した生徒のつなぎ先
- ⇒ 学校を離れた(中退, 卒業)後,  
困った時に相談できる場所

リーフレットによる広報

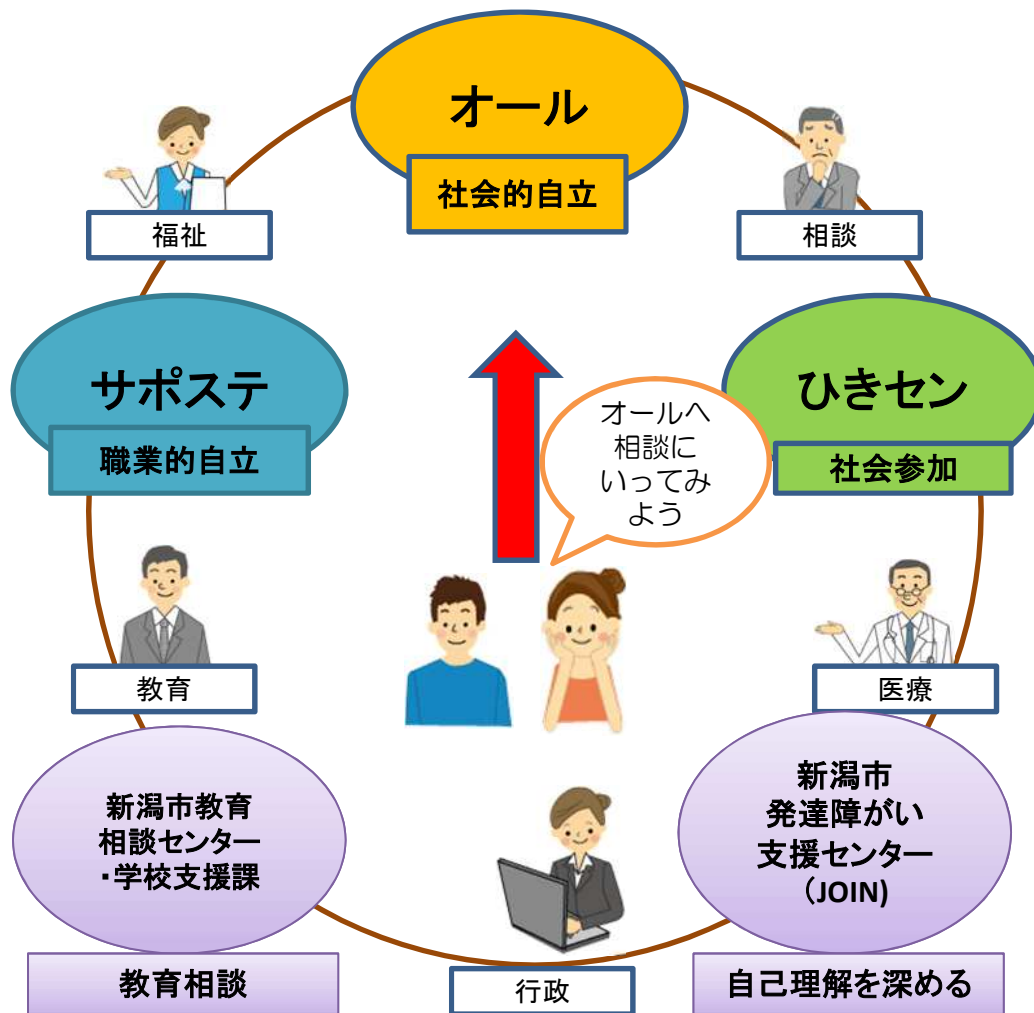
+

### 新潟市立高校への 「フリー相談」事業

- ・モデル事業  
平成25年度(10月～3月)
- ・平成26年度以降～  
事業を継続 (一校)



〔4〕にいがた若者自立応援ネット（新潟市若者支援協議会部会） 役割分担の明確化



◆(オール)新潟市若者支援センター ◆(ひきセン)新潟市ひきこもり相談支援センター ◆(サポステ)新潟地域若者サポートステーション  
 ◆(JOIN)新潟市発達障がい支援センター ◆新潟市教育委員会(学校支援課・新潟市教育相談センター)が中心となり、  
 相談・教育・医療・保健・福祉・行政の関連機関と連携し、相談者一人ひとりの社会参加から社会的・職業的自立までを支援していきます。

# 『新潟市若者ナビゲーションブック』の活用

◆若者自身が自己理解を深めることができ、よりよい自分に成長していけるように、相談や支援に役立てることを目標として作成しました。

◆関係する相手先に自身のことを知ってもらい、今後の展望を信頼できる相手と共に計画していくことができます。



## 内容

・困っていることを確認してみよう（仕事、学校、進学、就職、生活など・・・）

・こうなりたいと思うこと・好きなこと・苦手なことなどを書いてみよう

・やってみたいことや目標を書いてみよう

・自分の周りにはどんな人がいますか？（マップで書いてみよう・・・）

・自分の性格チェックリスト（長所・短所を理解する。）

・1日の生活リズム・1週間・1か月のスケジュール

・相談履歴・若者支援相談機関リスト

# 新潟市ユースアドバイザーの役割について

## 1. 新潟市ユースアドバイザーについて

- (1)新潟市ユースアドバイザーとは
- (2)新潟市ユースアドバイザーの役目
- (3)新潟市ユースアドバイザーへのお願い
- (4)若者の悩みをどこまで支援すればよいか
- (5)話し相手と相談相手の違い

## 2. 居場所での支援活動

- (1)日常活動
- (2)ユースアドバイザーによるミニ講座
- (3)スタッフやユースアドバイザー支援による自主企画

## 1 新潟市ユースアドバイザーについて

### (1) 新潟市ユースアドバイザーとは

#### 👉 新潟市ユースアドバイザー……

新潟市若者支援者養成講座を受講・修了し、レポート審査を通して新潟市教育委員会より委嘱された方です。(身分は「有償ボランティア」です。)

- ・活動で知りえた個人情報<sup>※</sup>は漏らさない。
- ・居場所勤務の報酬費: 1時間あたり1,000円(午前・午後)1,200円(夜間)
- ・支援事業のサポート報酬費: 4,000円(概ね4時間)

新潟市ユースアドバイザーである意識を高くをもち、責任感をもって、若者支援に従事しましょう。

# 1 新潟市ユースアドバイザーについて

## (2) 新潟市ユースアドバイザーの役目

### 👉 新潟市ユースアドバイザーの役目

#### ○センターの目標「社会的・職業的自立を支援する」

若者がアイデンティティを確立するために、安心して過ごすことができる居場所にしましょう。

#### ○具体的な若者の姿

「自信を持ち、社会性を身に付け、夢や目標に向けて動き出す」

↓そのために、居場所支援や事業支援を通して...

##### Step1 自信を持つために

→受容しよう、共感しよう、称賛しよう

##### Step2 社会性を身に付けるために

→若者が安心して集い、若者同士がかかわり、支え合う関係を築こう

##### Step3 夢や目標を持つために

→興味あること、経験を語り、若者の世界をひろげよう

## 1 新潟市ユースアドバイザーについて

### (3) 新潟市ユースアドバイザーへのお願い

#### 👉 新潟市ユースアドバイザーへのお願い(上から目線は×)

##### 1 個人情報を伝えないでください。

(1) お名前も名字だけにしてください。特にSNS(FaceBook等)をしている方は、  
個人を特定され危険な目に遭う場合もあります。

##### 2 居場所以外で若者と会わないでください。

(1) センターの活動以外は、ユースアドバイザーとして活動しないようにしてください。

##### 3 ユースアドバイザーは、広い視野をもって接してください。

(1) 高校生を含め、居場所に来所する方全員が対象者です。ひきこもり傾向の若者、精神疾患、発達障がいの特性を有する若者などそれぞれの視点だけで対応しないでください。

##### 4 ユースアドバイザーはスタッフと連携してください。

(1) 明らかにおどおどして困っている方には声をかけてください。  
(2) 他機関から紹介された方が来所した場合は相談スタッフにつないでください。  
(3) 若者とトラブルになりそうな場合はスタッフに連絡してください。(個人プレーは×です)

##### 5 個人情報は守秘してください。

(1) 新潟市ユースアドバイザー業務において知り得た個人情報を守秘してください。  
個人が関わっている若者支援活動に関しても公開しないでください。

※個人情報の提供に関しては、いかなる場合でも、本人の同意が必要となります。

## 1 新潟市ユースアドバイザーについて

### (4) 若者の悩みをどこまで支援すればよいか

👉 若者の悩みをどこまで支援すればよいのか・・・。

□チェック1 若者が安心して集えるようにしていますか。

- ・不審者はいないかな。
- ・居場所に若者が集まるためにはどうすればいいかな。(高校生も含めて)

□チェック2 若者同士をかかわるようにしていますか。

- ・あの子とあの子は同じ趣味をもっているから会話に巻きこもう。
- ・ミニ講座に誘って仲間づくりをしよう。

□チェック3 若者同士が支え合うようにしていますか。

- ・〇〇さんは、〇〇に詳しいから、教えてもらおうといいよ。
- ・若者同士の自主企画をサポートしよう。

□チェック4 若者が自信(自尊心・自己肯定感)をもつようにしていますか。

- ・相手の話を共感的に聴いて尊重してあげよう。
- ・すごいね、えらいね、をなるべくたくさん言おう。

□チェック5 若者が夢や目標に向かって動き出すようにしていますか。

- ・自分の興味あること、経験を語り、若者の世界をひろげよう。
- ・〇〇に興味あるようだから、〇〇の事業を紹介しよう。

相談をしてはいけない・・・どのような段階で相談スタッフにつなげばよいか、を考える前に・・・。

# 1 新潟市ユースアドバイザーについて

## (5) 話し相手と相談相手の違い

### 👉 話し相手と相談相手の違いは・・・

#### 1 話し相手と相談相手の解釈

- (1) 話し相手... **悩みを聴いてくれる人**
- (2) 相談相手... **悩みを解決してくれる人**

↓

話の内容は、愚痴・怒り、悩み・悲しみ、喜び・夢など多様。

↓ 話の内容だけでは判断できない・・・

**※要は、若者が悩みを聴いてほしいだけなのか、悩みを解決してほしいのかを見極める。**

#### 2 ユースアドバイザーが相談スタッフにつなぐ過程

- (1) 若者と雑談

##### 雑談5つのルール

- ①「中身が無い」ことに意味がある ②「挨拶+a(その時たまたま目についたもの)」でできている ③「結論」はいらない ④さくっと切り上げる ⑤話術やトーク術ではない

- (2) 悩みごとが発覚→聴いてほしいだけなのか、解決してほしいのか

↓ **解決してほしいと思っている時**

- (3) 相談スタッフにつなぐ、あるいは居場所にいるスタッフに相談する。

#### 3 雑談に秘めた力

○ **場の空気を作り、互いの距離を縮める雑談力。**



## 2 居場所での支援活動

### (1) 日常活動

☞ そのために居場所では・・・

#### ○受付・話し相手

- ・受付が必要な方に対応する。
- ・必要であれば声かけを行い、話し相手になる。

#### ○ミニ講座・自主企画サポート

- ・ミニ講座を開催し、若者を集い、つなげる。
- ・やりたいことを実現できるように自主企画をサポートする。

#### ○環境整理

- ・掲示板の工夫や整理整頓を行う。
- ・居場所のルールを守れるように支援する。

#### ○相談や事業につなぐ

- ・相談内容は、相談につなぐ。
- ・若者の実態を把握し、ねらいに合う事業を紹介する。

## 2 居場所での支援活動

### (2) ①ユースアドバイザーによるミニ講座

#### 1 目的

○ユースアドバイザーの得意な事を活用することを通して、若者同士をつなぎ、ユースアドバイザーと若者の交流を深めたり、若者に自信を持たせたり、社会性を身につける。



活動



活動があると、話しやすくなる、または、話をしなくてもいい雰囲気を作れる、若者を褒めやすくなる、若者同士を関わらせやすくなります。

#### 2 システムの流れ

- (1)ミニ講座計画書をスタッフに提出する。  
講座内容、材料についてスタッフと前もって相談する。
- (2)ミニ講座の講座名を決める。・・・「折り紙で動物をつくろう」など…
- (3)月の予定を「かわら版」形式にして若者に知らせる。(スタッフ作成)
- (4)和気あいあいと活動しながら、互いに交流を深め、若者をつなぐように配慮する。
- (5)次回の活動などを確認しながら、リピーターになってもらうようにする。

## 2 居場所での支援活動

### (2) ②ユースアドバイザーによるミニ講座

#### ○ミニ講座

自分の趣味や特技を公開したり、何でもいいんです。ただし、「教える講座」ではありません。「若者をつなげるためのツール」としての講座です。

編み物で小物を作ろう

小筆でなぞってみよう

詩などの輪読

あなたはYES派？  
それともNO派？

リフレッシュトーク

俳句を楽しもう

## 2 居場所での支援活動

### (2) ②ユースアドバイザーによるミニ講座

#### ○ミニ講座

喋らなくても、誰かと同じ時間と場所を過ごせる講座も人気です。

脳トレ

マンガ・イラスト・ぬり絵

絵手紙

折り紙で切り絵を作ろう

アイロンビーズ

ジグソーパズルで遊ぼう

## 2 居場所での支援活動

### (3) 若者の自主企画を支援する

#### 1 目的

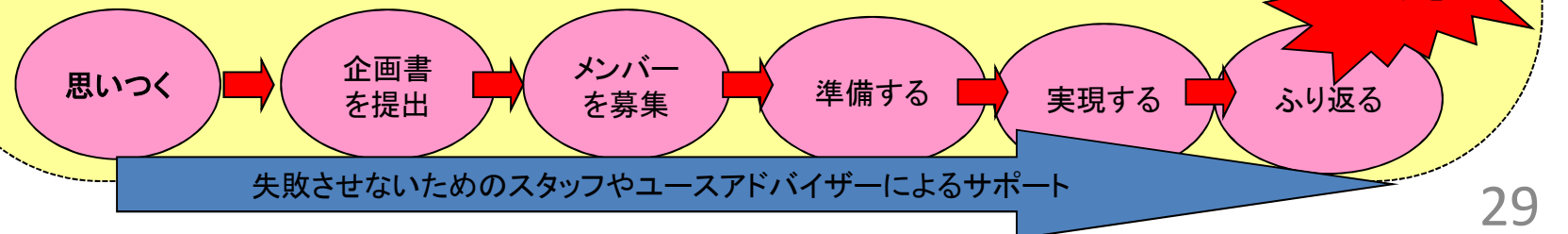
○若者の「やりたいこと」(夢や目標)をサポートしながら、仲間と力を合わせて達成させることにより、自信と社会性を身につけ、自ら動き出す力を育てる。

#### 2 システムの流れ

- (1)「若者がやりたいこと」を見つけ、「この指とまれカード」に記入する。  
ユースアドバイザーが若者との会話から、自然な感じできく。(情報収集)  
スタッフが実施可能か検討する。
- (2)実施可能であれば、スタッフやユースアドバイザーからサポートを受け、企画書を作成する。
- (3)スタッフの承諾を得たら、「このゆびとまれ」のポスターを作り、掲示板に貼り、仲間を集める。
- (4)「やりたいこと」を仲間と一緒に実現する。その後によりかえり活動。

#### 3 挫折させず、達成感をもたせるために

○オールシステム



## 2 居場所での支援活動

### (3) 若者の自主企画を支援する

バドミントン

ボードゲーム

オールが核となり、  
行政の力、市民の力、地域の力、若者同士の力を  
コーディネートしながら  
協働で若者を支援していきます。

ご清聴 ありがとうございました。

## 新潟市若者支援センター「オール」

住所：新潟市中央区東万代町9-1  
万代市民会館内

電話：025-247-6781

FAX：025-247-8080

メール：[bandai.ci@city.niigata.lg.jp](mailto:bandai.ci@city.niigata.lg.jp)